

おうちでミレー鑑賞

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて臨時休館となっている山梨県立美術館は、インターネット上で収蔵するミレー作品を鑑賞できる「バーチャル展示室」をおうちからミレーへボンジュール」を美術館のホームページ内に開設した。家にいながら美術館内での作品鑑賞を疑似体験できる。

バーチャル展示室は、ミレーの油彩画11点を鑑賞することができる。画面上に美術館内にあるミレー館の入り口や展示室風景が映し出され、展示されているミレー作品をクリックすると作品の画像と解説文が拡大表示される。展示室の画像は足跡の



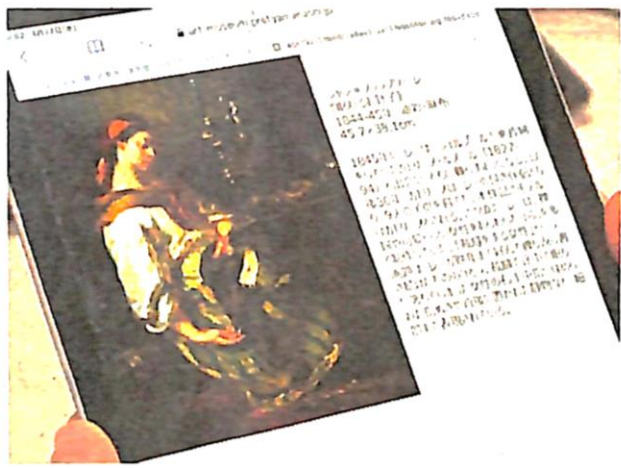
県立美術館がバーチャル展示室

展示室でミレー作品を鑑賞している気分を味わえる県立美術館のサイト

マークでつないでいて、実際に展示室を歩いて鑑賞しているような感覚を楽しめる。

作品は「種をまく人」「ポーリーヌ・V・オノの肖像」「鶏に餌をやる女」「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼ひ」など。解説文は作品ごとに詳しく掲載している。

スマートフォンからの鑑賞も可能。担当者は「家で過ごす時間が多くなった皆さんに、アートの触れる機会を提供したい」としている。〈山本久美子〉



サイト内ではミレー作品を拡大して鑑賞できる

家で文化・芸術に触れて！

北斎やミレー バーチャル展示

県立博物館や美術館など

展示案内

「館上コレクション 全巻揃い一冊の巻・鑑賞の巻」スペシャルコンテンツ



展示室に入りました。壁には作品や解説など、いろいろなものがかけられています。クリック（タップ）して、見たり聴いたりしてみてください！

県立博物館のHPで公開している「おうちで北斎漫画」④（県立博物館提供）。県立美術館でもオンラインミュージアムの取り組みを始めた（県立美術館提供）

今後、今月末までの臨時

バーチャル展示室へようこそ
～おうちからミレーへボンジュール～

山形県立美術館のミレー一冊では、19世紀フランスの画壇ジャン・フランソワ・ミレーや、バロンの活動した作品などを展示しています。このバーチャル展示室では、ミレー一冊で展示中の作品を、壁に掛かっている最先マウスの作品をクリックすると拡大画像と解説が見られます。壁に掛かっている最先マウスの作品をクリックすると拡大画像と解説が見られます。ぜひおうちでミレーの作品をじっくりお楽しみください。



県立博物館は臨時休館延長に伴い、3月21日から予定していた特別展「浦上コレクション 北斎漫画く驚異の眼・驚異の筆」の一般公開を中止。それに伴い「少しでも楽しんでもらいたい」と前倒しで19日から同

館のホームページ（HP）上で同展のスペシャルコンテンツとして「おうちで北斎漫画く驚異の眼・驚異の筆」を公開した。「北斎漫画」は、浮世絵師の葛飾北斎が弟子らの絵手本として描いたもので、代表作の「富嶽

三十六景」と並んで知られているという。「おうちで北斎漫画」はHPの展示案内からアクセスし、エントランスゲートの入り口を映し出した画像内の矢印付近をクリックすると、展示室に入ったように「初編」の画像が変わる。画像内の「展示物」をクリックすると、初編の説明や各展示物の画像が拡大されるようになっていく。15編まであり、全47点を公開。特別展では約200点を展示する予定だったが、4分の1程度だが、「それぞれの編のテーマに合わせて代表的なものを紹介し、一つ一つをじっくり見る機会にしてもらえれば」と話す。一般公開では今月11日までを予定していたが、オンラインでは今月末までの公開を予定している。

新型コロナウイルスの影響による外出自粛要請に伴い、県内でも臨時休館している美術館などが「自宅で気軽に楽しんでほしい」と、オンライン上で展示資料の公開をしている。県立博物館は、開館15周年を記念して予定していた特別展「北斎漫画」のスペシャルコンテンツとして、葛飾北斎が人々の一瞬の動きをユーモラスに捉えて描写した資料の一部をオンラインで公開しているほか、SNSで公開した疫病を予言したという不思議な鳥が話題を呼んでいる。県立美術館や県立文学館でも常設展示資料の一部をオンラインで楽しめる動きが進んでいる。

美術散歩



ジャン＝フランソワ・ミレーの《種をまく人》1850年＝左＝と《ポーリス・V・オノの肖像》1841-42年頃＝右＝ 山梨県立美術館所蔵

おうちでミレー鑑賞

ホームページ
HPに名画や工作

山梨県立美術館

新型コロナウィルス
対策で臨時休館してい
る山梨県甲府市の山梨



絵画をクリック

※先マークのある展示作品をクリックすると拡大画像や解説が表示される(同館のサイトより)

県立美術館では、家で過ごす時間が多くなつた人たちにアートに触れる機会を提供しようと「おうちで山梨県立美術館」と題した企

画をホームページ上で公開している。同館が収蔵するミレー作品が鑑賞できる「バーチャル展示室」のうちからミレーへボンジュール」では《種をまく人》《ポーリス・V・オノの肖像》《鶏をやる女》など11点

の油彩画を紹介、画面上にミレー館入り口や展示室風景が映し出され、指先マークのある展示作品をクリックすると、拡大画像と解説文が表示される。作品の一部を「ローズアツプ」小さく描かれたモチーフや画家の筆跡も解説している。同館が工作の楽しさを体験してもらう創作教室を取り上げてきた身近な物でできる作品を画像付きで紹介する「コーナー」や所蔵作品の塗り絵など、多彩な内容を開いている。*6月2日(火)からコレクション展(常設展)を再開

☎055122813